

巻頭
記事6月例会開催 第47期委員会報告・
第48期年度方針発表

6月例会を終えて

総会・卒会式に向けて／ビジネス経営委員会6月オープン委員会開催
第40回全日本トライアスロン皆生大会選手紹介
人間力を磨くvol.9“人間力を磨く総集編”／会長杯ゴルフコンペ開催
こんにちは赤ちゃん／彩気煥発 ～さいきかんぱつ～
新入会員紹介／役員会報告

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 奥森秀夫 ◆編集責任者／担当 副会長 渡邊公平 ◆制作・編集 第47期広報委員会／委員長 下村英一

6月例会開催 第47期委員会報告・第48期年度方針発表



6月15日、第47期の活動を締めくくるとともに6月例会が、米子コンベンションセンターにて開催された。

第47期最後の通常例会の挨拶に立たれた奥森会長は、「第47期もコロナに見舞われた1年となりましたが、会員の皆さまのおかげで全ての事業を開催することができました。今日は、委員会報告と高井次年度会長による

方針発表がございます。高井次年度会長の思いを聞いて、48期も会員の皆さまによって大成功されるようによろしくお願いいたします」と述べられた。

続いて、新入会員の藤原会員へバッジ授与、伊澤会員へ第二子誕生のお祝いと贈呈された。

第47期委員会活動報告では、今期も感染防止のため副委員長の送り出しは控えめではあったが、熱い気持ちをしっかりと委員長へ伝えられた。その後、5名の委員長は、それぞれの委員会活動を振り返り気持ちのこもった発表を行った。

ビジネス経営委員会・谷村委員長は「【Infinity～無限大～】の委員会テーマのもと、メンバーを3チームに分けてディベートを行うなど、委員会も例会もメンバー一人一人が主役であることとして1年を走り抜けた」

広報委員会・下村委員長は「【～競存競争～】のテーマのもと、1年を通しての広報誌の発刊、事業での広報など委員会メンバー丸となって活動し、個々の成長を感じることができた」

総務委員会・景山委員長は「【輝心】のテーマのもと、委員会メンバー全員で会の根幹事業を行い、会の活動を通じて感性を磨く努力をし、Challengingな1年にすることができた」

地域彩り委員会・安藤委員長は「【かっこいいを目指して】のテーマのもと、メンバーを2グループに分けて地域を盛り上げておられる様々



な企業を発掘・発信を行った。委員会でも勉強会を開き、かっこよく、地域を彩れる人材となれるよう成長できた1年間だった」

政治行政委員会・宇佐見委員長は「【繋がりの】のテーマのもと、米子・境港間の高規格道路に焦点を当てて西部地区のより良い未来を創造していくことを目標とし、メンバー丸となって走り抜けた1年間だった」

発表後には奥森会長や担当副会長と熱い握手を交わし、委員会活動報告を終えた。

次に、高井次年度会長より第48期方針発表が行われた。第48期スローガンを「動力」、活動テーマを「今、この瞬間に全力」とした。「第48期も強く前進する為に全力で動力を回し続けていく活動を行っていく。そして、苦しい時代だからこそ、今この瞬間を全力で感じて、学んで、楽しんで、成長していける1年間にしていきたい」と述べられた。その後、第48期の組織も発表され、新役員21名が壇上に上がり紹介をされた。そして新理事の5名より挨拶があった。第47期の活動を締めくくり、第48期への力強いスタートとなる例会となった。



(記事:河津)

6月例会を終えて



この度は6月例会にご参加いただきありがとうございました。本例会は第47期委員会報告ならびに第48期年度方針発表を行いました。

第47期委員会報告では5名の委員長がそれぞれの想いを熱く語っていただき、時折、会場からは笑い声が上がるなどこの一年を懐かしみながら、そして楽しく振り返ることが出来ました。第48期年度方針発表では、第48期高井会長のご挨拶と年度方針発表を全会員が真剣な眼差しで聞き入っていたのがとても印象的でした。

当初はZoom併用の通常開催で考えておりましたが、Zoom参加者が0名ということでZoom併用はしないと判断しました。ここにきてコロナ感染者が減少したという要因もあるでしょうが、会員にとって6月例会は一年を締めくくり、来期へ繋ぐ重要な例会であるから会場へ足を運ばれたと思います。その重要な6月例会を無事終えることが出来たのも、委員会メンバーをはじめとするご参加いただいた会員皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

広報委員会委員長 下村 英一

(山陰建設サービス株式会社 営業部 営業二課 課長)

総会・卒会式に向けて

総務委員会 委員長 景山 慎也
(サンククリーン株式会社 常務取締役)



令和4年7月14日ANAクラウンプラザホテル米子において、令和4年度通常総会並びに第47期卒会式を控え、私たち47期総務委員会は最後の準備を行っております。ここ2年は通常の形で総会や懇親会を行うことができておりませんでした。経験値を高めた開催方法の醸成により、いよいよ本格的に通常開催が見込まれるところまで来ました。なんとと言っても会員全員の力強い「異議なし」の発声による47期の帰港と48期の船出を祝う重要且つ晴れやかな一日になる事を想像して止みません。

まだまだ気を抜くことは出来ませんが、青年中央会の新たな1ページを刻む重要な日となり、今後の青年中央会が益々活力に溢れ、OB会員の皆さまと共にこの地域を牽引する団体となります事を祈念し、当日は有意義なお時間をお過ごしください。

ビジネス経営委員会 6月オープン委員会開催



令和4年6月8日(水)米子コンベンションセンター第7会議室にて、ビジネス経営委員会主催によるオープン委員会が開催されました。38名の会員が参加し、総務委員会、広報委員会、政治行政委員会、地域彩り委員会、第47期副会長・専務、第47期卒会者、第48期副会長・専務、第48期委員長の8チームへ分かれてディベートを行いました。

総務委員会vs広報委員会のディベートテーマは「ハンサムが発刊は毎月必要か否か」。政治行政委員会vs地域彩り委員会は「例会前の食事は必要か不要か」。第47期副会長・専務vs第48期副会長・専務は「トライアスロン(ボランティア)

への参加は、続けるか否か」。第47期卒会者vs第48期理事は「委員会・例会後の懇親会は必要か、不要か」。いずれも中央会活動に沿ったおもしろいテーマでした。

各ディベート大変盛り上がり、正解のないテーマでディベートを行うことにより、互いのチームの主張を聞き入れ、論理的に肯定・否定をすることにより、人間的に成長でき、チームワーク力を高める上でも大変貴重なオープン委員会となりました。

第47期最後の委員会でオープン委員会を企画してくださったビジネス経営委員会の皆様誠にありがとうございました。

(記事:川口)



第40回全日本トライアスロン皆生大会選手紹介



トライアスロン
参加への抱負

ビジネス経営委員会
津村 侑吾
(米子市役所)

この度、チームTSC、ラン担当をさせていただくことになりました津村です。

今回のお話をいただいてから、ゴールした際どれほどの達成感があるのかという期待と、もしゴールできなければ…というプレッシャーなどを想像しながら日々練習に励んでおります。

スイム・バイクと繋がれた、たすきとともに送り出されていた会員の皆様の思いを背負って無事にゴールの東山陸上競技場に帰ってきます。

温かいご声援よろしくお願いたします。



トライアスロン
参加への抱負

総務委員会 副委員長
山根 壮
(株ヤマネ産機 常務取締役)

皆様こんにちは。第40回全日本トライアスロン皆生大会でスイムを任せられました山根壮です。石田会員にお誘いを頂いた時、軽い感じで「出ます」と返答したのが始まりでした。今年36歳で毎日プールに通い、ジムのおば様方の横でひたすら泳いでいます。小学校以来にビチビチの水着を履き、新しいことにチャレンジすることに、すごくワクワクしています。なにがあっても次の石田会員(バイク)にバトンを繋げ、チームで完走できるように頑張ります。応援よろしくお願いたします。



トライアスロン
参加への抱負

ビジネス経営委員会 石田 倫章
(ウィルビー株式会社 管理課 課長)

第39回大会から3年、待ちに待った第40回大会がついに開催されるようとしています。

この間、鳥取県最大のスポーツイベントを絶やさないために、皆生トライアスロン協会をはじめ、行政や多数の団体、個人、当会OBの方々がご尽力されてきました。その結果として、今年の第40回大会開催が叶ったものです。

力を尽くされた方々への感謝と敬意を持ち、大会を盛り上げるべく競技選手として参加して参ります。よろしくお願致します。

人間力を磨くvol.9

“人間力を磨く総集編1年間の連載を振り返る”

第1編集部

「人間力を磨く」の振り返りということで、まずは色々な力を磨くことの出来た1年だったなという思いです。第1編集部として第47期初のハンサムでは、大山日ノ丸証券 深井様にリーダーシップについてお話を伺い、コミュニケーションの重要性、責任感や判断力について学びました。2月号では、新日本海新聞社へ取材に伺い長谷部様、伊藤様、平塚様にお話を伺いました。ビジネスマンとして今後も重要な文章力・表現力について、写真撮影のポイント等を学びました。3月号では、YouTube動画を活用してプレゼンテーション力について学びました。その後プレゼンをする機会はまだまだありませんが、次回第1編集部メンバーのプレゼンがある際はご注目いただければと思います(笑)

最後に、取材を受けてくださった企業の皆様、記事と一緒に作り上げた委員会メンバーの皆様、1年間誠にありがとうございました。

(第1編集部リーダー:渡部直哉)



第2編集部

第2編集部では、(かばはうすホールディングス株式会社)専務取締役 福田達也氏、(有限会社花秀)代表取締役 渡部秀夫氏、(有限会社木村鮮魚店)代表取締役社長 木村努氏への取材を通じて人間力を磨いてきました。

福田氏からは「人を惹きつける力」を、渡部氏からは「花と人間の関係性」を、木村氏からは「企業をNo.1に導く力」を学ばせていただきました。

取材を通じて感じたことは、「自分が成長・実践しなければならぬ」ということです。まず自分が動くことで企業内での関係や取引先との関係が好転していく。

企業人である私たちがまず考えなければならぬことを改めて痛感させられた1年だったと思います。

取材に応じていただきました各企業の皆様本当にありがとうございました。

(第2編集部:小原武史)



第3編集部

連載テーマが「人間力を磨く」ということで、第3編集部は「人を見いだす力」として進藤氏に取材をし、「大人のマナー」としてマナーを調べました。進藤氏との対談では、1つ1つの事で相手のことを観察し相手を成長させるためにどうしていくのが良いか、興味を引かせる対話術など、人の成長だけでなく自身の成長も必要とさせるお話を聞かせて頂きました。

それを実践できているかと言われるとまだまだではありますが、さらなる成長を求めて精進して参ります。大人のマナーでは、知らないものや時代によって変わっていくもの、様々なマナーを調べ学ばせて頂きました。この1年間で新たな人間力を磨いていくきっかけを下された下村委員長、ありがとうございました!

(第3編集部リーダー:河津孝彦)



連載を終えて

広報委員会委員長 下村 英一 (山陰建設サービス株式会社 営業部 営業二課 課長)

第47期で発行するハンサムが最後を迎えました。今期は～人間力を磨く～というテーマで連載をし、様々な方に取材に伺いましたし、編集部で学んだ事を記事にしました。取材内容はもちろんのことですが、面識のない方に取材をし、新たな繋がりを作る。これだけでも人間力を磨くことが出来たと思います。そしてお話を伺う中で多くの刺激を受けました。編集部独自で学んだ記事についても、分かっているようで実は分かっていない、新たな気付きや学びを得ることが出来ました。

編集部の皆さんはこのテーマでどんな記事にしようかと頭を悩ませたとと思います。それでも最後までやり遂げていただきました。本当にありがとうございました。今期この連載が、少しでも皆様の糧になったのであれば幸いです。



会長杯ゴルフコンペ開催



6月12日(日)西部会長杯ゴルフコンペが大山アークカントリークラブにて開催された。東部、中部からもたくさんのご参加をいただき総勢38名での開催となった。スタート前には東部田中会長、中部菅笠会長、西部奥森会長による始球式が行われコンペの幕開けとなった。



各組で各地区の会員が共にプレーし白熱した中にも笑い声が響き渡り、交流を深めながらコンペは進んでいった。コンペ終了後にはクラブハウスにて表彰式が開催され、会場は大いに盛り上がった。注目の優勝者は東部西原泰仁次年度会長

であった。締めめの挨拶では西部高井賢一次年度会長がコンペ参加への感謝を述べられた後「コロナも落ち着き事業を再開できるようになった。この流れを来期につなげたい」と語られ幕を閉じた。

(記事 高見)



みんなで待っていた赤ちゃん こんにちは赤ちゃん



ビジネス経営委員会
伊澤 佑矢
(米子信用金庫 次長)

令和3年12月8日に第二子となる長男が生まれました。妻が高齢出産ということもあり出産までの間ひやひやすすることもありましたが、無事その日を迎え、3,066グラムで生まれてきました。

名前はかなり悩みましたが、いくつか候補を出して妻と思いつきりバチバチと議論をしました。いろんな名前の意味を考え候補を絞りましたが、生まれてきた子の顔を見て自然と浮かんだ名前「駿(シュン)」と名付けました。

自身の体力の衰えを痛感しながら育児をしていますが、削れてゆく体力の中で中央会活動も精進していきたいと思っておりますので、温かく見守っていただければ幸いです！

彩気煥発 ~さいきかんぱつ~

四字熟語「才気煥発」の意味には才能が輝くこととあります。中央会を彩る、キラリと輝く会員を紹介します。

総務委員会 吉川 直樹
(株式会社寺子屋ウェブ 工場長)



「才気煥発」、お恥ずかしい話ですがGoogleに意味を教えてくださいました。

あふれ出る才能、特別な力は私にはありません。30歳までサッカーに明け暮れ、仕事よりも遊び!という生き方をしてきました。鳥取県に移住し今の仕事を真剣に取り組むようになり、周りのサポートがあり日々頑張っていると感じています。才能ではないですが、強いて答えならば「私の環境」が才気煥発に近いものかもしれません。

7月役員会報告

令和4年7月1日(金) 国際ファミリープラザ ファミリーホールにて新旧役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 6月例会開催の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会の件
- 総会・卒会式、懇親会開催の件
- 8月例会開催の件

※なお詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

いよいよ47期も終わり48期へ。思えばずっとコロナに振り回されたこの2年間でしたが、ハンサム連載で培った人間力を発揮して、来期は会として飛躍する1年になればいいなと思います。とにもかくにも今期の委員長の皆様、本当におつかれさまでした!

(広報委員会 小坂)

新入会員

(地域彩り委員会)



ふじ はら なお ゆき
藤原 直之 B型
有限会社サンワ 常務取締役
包装資材・食品容器・陶器・漆器・厨房備品・販売卸売業
〒690-0044 鳥取県松江市浜乃木7-9-1
TEL:0852-22-3857 FAX:0852-27-4472

R04.06(R03年度)入会
(推薦者)高井(賢) 徳中(太)

〈コメント〉仕事は主に仕出、飲食店様への厨房備品関係に携わらせていただいております。コロナ禍で厳しい状況ですが、会を通じて学ばせていただき会社の発展に繋がりたいと思います。至らない点もあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。